

平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社

上場取引所 東

コード番号 7707

URL <http://www.pss.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田島 秀二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営統括本部長

(氏名) 秋本 淳

TEL 047-303-4800

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年6月期第2四半期 | 1,907 | △2.0 | △223 | — | △130 | — | 1,289 | — |
| 25年6月期第2四半期 | 1,947 | 13.0 | △121 | — | △86 | — | △154 | — |

(注)包括利益 26年6月期第2四半期 △926百万円 (—%) 25年6月期第2四半期 △52百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年6月期第2四半期 | 70.64 | — |
| 25年6月期第2四半期 | △8.47 | — |

(注)当社は平成26年1月1日付で、普通株式1株につき200株の割合をもって分割する株式分割を実施致しました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 26年6月期第2四半期 | 8,037 | 5,067 | 58.8 | 258.76 |
| 25年6月期 | 11,488 | 8,240 | 42.9 | 269.76 |

(参考)自己資本 26年6月期第2四半期 4,722百万円 25年6月期 4,923百万円

(注)当社は平成26年1月1日付で、普通株式1株につき200株の割合をもって分割する株式分割を実施致しました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|----------|----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年6月期 | — | 0.00 | — | 2,300.00 | 2,300.00 |
| 26年6月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 26年6月期(予想) | — | — | — | 15.00 | 15.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成26年6月期(予想)の配当金については、平成26年1月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行う影響を考慮しております。分割実施前の現在の株数では、1株当たり3,000円の配当に相当いたします。

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|---|------|---|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 4,360 | 8.2 | △250 | — | △225 | — | 1,200 | 18.3 | 65.75 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)1. 平成26年1月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行う影響を考慮しております。分割実施前の現在の株数では、通期予想の1株当たり当期純利益は13,149.24円となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 26年6月期2Q | 91,260 株 | 25年6月期 | 91,260 株 |
| 26年6月期2Q | — 株 | 25年6月期 | — 株 |
| 26年6月期2Q | 91,260 株 | 25年6月期2Q | 91,260 株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 5 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 5 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 5 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 5 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 9 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 11 |
| (セグメント情報等) | 11 |
| (重要な後発事象) | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和などにより、円安・株価上昇が一段と進み、企業部門の生産活動が回復し、雇用・所得環境にも改善が見られるなど、景気は緩やかに回復してまいりました。

このような状況の中、当社グループは、バイオ関連業界において、ラボ（研究室）自動化や臨床診断用の各種装置、それらに使用される試薬や反応容器などの消耗品類の製造販売に注力してまいりました。

これら製品は、ロシユグループ、キアゲングループ、三菱化学メディエンス(株)、ライフテクノロジーズ社などへのOEM販売（相手先ブランドによる販売）を中心に、欧米子会社を通じた自社販売も含め、ワールドワイドに事業展開しております。

当第2四半期連結累計期間は、売上高1,907百万円（前年同期比2.0%減）、売上総利益687百万円（前年同期比12.9%増）となりました。DNA自動抽出装置を中心とした既存製品に関しては、OEM先別に好不調はあるものの全体としては順調に推移いたしました。一方で、前連結会計年度から当社子会社となった製造工場であるエヌピーエス(株)は、当社以外からの受託製造を実施しておりますが、当該事業が減収となったことが主な原因となり、全体としては前年同期比で若干の減収となりました。しかしながら、輸出割合が大きい当社にとっては、円安が追い風となり、売上総利益では増益を確保いたしました。

費用面では、新規製品の開発及び事業化推進のため、人員増加、研究開発費及び特許関連費用の増加を招き、販売費及び一般管理費は911百万円（前年同期比24.7%増）と大きく増加し、営業損失△223百万円（前年同期は営業損失△121百万円）となりました。また、為替差益などの営業外収益の発生により、経常損失△130百万円（前年同期は経常損失△86百万円）となりました。

その他、当社連結子会社であり、当社グループで50%を出資しているベンチャーファンド「バイオコンテンツ投資事業有限責任組合」において、投資先である(株)リプロセルの株式上場に伴い保有株式を売却したことから、投資有価証券売却益3,822百万円を計上いたしました。少数株主損益や税金等を費用計上し、四半期純利益1,289百万円（前年同期は四半期純損失△154百万円）と大幅な利益を確保いたしました。

取引先別の販売状況は、下表のとおりであります。

| | 前第2四半期 連結累計期間 | | 当第2四半期 連結累計期間 | | 対前年同期 増減率 | (参考) 前連結会計年度 | |
|----------|------------------|-------|------------------|-------|--------------|-----------------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | 金額 | 構成比 |
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % | 百万円 | % |
| ロシユグループ | 662 | 34.0 | 596 | 31.2 | △10.0 | 1,119 | 27.8 |
| キアゲングループ | 309 | 15.9 | 327 | 17.2 | 5.9 | 638 | 15.9 |
| その他 | 975 | 50.1 | 983 | 51.6 | 0.8 | 2,270 | 56.3 |
| 合計 | 1,947 | 100.0 | 1,907 | 100.0 | △2.0 | 4,029 | 100.0 |

当第2四半期連結累計期間におけるロシユグループ向け販売は、596百万円（前年同期比10.0%減）となりました。前年同期には、次世代シーケンサー前処理装置の開発契約に伴う手数料収入が計上されており、当該事象の影響により前年同期比で減収となりました。一方、キアゲングループ向け販売は、327百万円（前年同期比5.9%増）と順調な売上を確保いたしました。

その他販売に関しましては、983百万円（前年同期比0.8%増）となりました。米国OEM先であるナノストリング社やライフテクノロジーズ社が好調であった他、アボットグループ向けに開発を進めている臨床診断用の検体前処理装置に関して、開発の進捗に伴う順調な売上計上をいたしました。こういった主力事業は好調であったものの、前述のとおり、子会社であるエヌピーエス(株)の受託製造事業が減収となったことから、前年同期比でほぼ横ばいの結果となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

| | | 前第2四半期 連結累計期間 | | 当第2四半期 連結累計期間 | | 対前年同期 増減率 | (参考) 前連結会計年度 | |
|-----------------------------|----------|------------------|-------|------------------|-------|--------------|-----------------|-------|
| | | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | 金額 | 構成比 |
| 報告 セ グ メ ン ト | 装置 | 1,066 | 54.8 | 1,144 | 60.0 | 7.3 | 2,351 | 58.4 |
| | 試薬・消耗品 | 479 | 24.6 | 481 | 25.2 | 0.4 | 940 | 23.3 |
| | メンテナンス関連 | 134 | 6.9 | 146 | 7.7 | 9.2 | 297 | 7.4 |
| | 受託製造 | 262 | 13.5 | 130 | 6.8 | △50.3 | 430 | 10.7 |
| その他 | | 5 | 0.2 | 5 | 0.3 | 4.7 | 9 | 0.2 |
| | 合計 | 1,947 | 100.0 | 1,907 | 100.0 | △2.0 | 4,029 | 100.0 |

(注) 当連結会計年度より、製品区分の表示を変更しております。当第2四半期連結累計期間を前連結会計年度における製品区分別に表示すると、DNA自動抽出装置等922百万円、試薬・消耗品類481百万円、メンテナンス関連146百万円、その他357百万円となります。

① 装置

当第2四半期連結累計期間は、売上高1,144百万円（前年同期比7.3%増）となりました。一方で、営業費用は1,124百万円（前年同期比16.1%増）となり、営業利益19百万円（前年同期比80.2%減）となりました。詳細は、以下のとおりであります。

(a) ラボ（研究室）自動化装置

ロシュグループやキアゲングループに供給しているDNA自動抽出装置を中心としたラボ（研究室）向けの各種自動化装置のことであり、344台の出荷に開発売上も加え、売上高875百万円（前年同期比1.9%増）となりました。一方で、営業費用は810百万円（前年同期比12.9%増）となり、営業利益64百万円（前年同期比54.0%減）となりました。営業利益ベースで減益となりましたが、前年同期においては、前述のロシュグループからの手数料収入が加算されております。

(b) 臨床診断装置

三菱化学メディエンス(株)に供給している免疫化学発光測定装置やアボットグループ向けに開発を進めている臨床診断用の検体前処理装置などの臨床向け装置のことであり、173台の出荷に開発売上も加え、売上高268百万円（前年同期比29.4%増）となりました。一方で、予想以上に開発売上のコストが増加し、営業費用314百万円（前年同期比25.5%増）となり、営業損失△45百万円（前年同期は営業損失△42百万円）となりました。

② 試薬・消耗品

当区分は、自社ブランドのDNA抽出用の試薬や当社装置の使用に伴い消費される反応容器などの専用プラスチック消耗品などの区分であります。主要なOEM先は、OEM先が自社で試薬を製造販売しておりますが、プラスチック消耗品類は当社から購入する契約となっております。

当第2四半期連結累計期間は、売上高481百万円（前年同期比0.4%増）となりました。営業費用は450百万円（前年同期比1.1%減）となり、営業利益30百万円（前年同期比30.3%増）となりました。当区分の売上高は、基本的には装置の累計出荷台数に応じて売上拡大が見込める性質があるため、順調な伸長が期待できるものと考えております。

③ メンテナンス関連

当区分は、装置メンテナンスやスペアパーツ（交換部品）販売などの区分であります。主要なOEM先は、OEM先が自社でメンテナンス対応しておりますが、スペアパーツは当社から購入する契約となっております。

当第2四半期連結累計期間は、売上高146百万円（前年同期比9.2%増）となりました。営業費用は140百万円（前年同期比0.8%減）となり、営業利益6百万円（前年同期は営業損失△7百万円）となりました。当区分の売上高は、基本的には装置の累計出荷台数に応じて売上拡大が見込める性質があるため、順調な伸長が期待できるものと考えております。

④ 受託製造

当区分は、子会社の製造工場であるエヌピーエス(株)が実施している、当社以外の外部からの受託製造事業の区分であります。

当第2四半期連結累計期間は、売上高130百万円（前年同期比50.3%減）となりました。営業費用は107百万円（前年同期比56.4%減）となり、営業利益22百万円（前年同期比49.7%増）となりました。新規案件の進捗が遅れている上、既存製品の売上減少も招いており、前年同期比で大きく減収となりました。当区分は、当社の主要事業ではないものの、エヌピーエス(株)の収益確保のための事業となっています。

⑤ その他

当区分は、上記①～④のいずれにも該当しない売上を区分しています。主には、PSSキャピタル(株)とベンチャーファンドであるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合、その投資先であるPaGE Science(株)の事業の区分であります。

当第2四半期連結累計期間は、売上高5百万円（前年同期比4.7%増）となりました。営業費用は9百万円（前年同期比63.1%増）となり、営業損失△4百万円（前年同期は営業損失△0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当社連結子会社であり、当社グループで50%を出資しているベンチャーファンド「バイオコンテンツ投資事業有限責任組合」において、投資先である(株)リプロセルの株式上場に伴い保有株式を売却いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は8,037百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,451百万円の減少となりました。株式売却の影響などから、現金及び預金が2,746百万円増加、繰延税金資産が457百万円減少、未収入金が1,524百万円減少、投資有価証券が4,357百万円減少いたしました。

負債合計は2,970百万円となり、前連結会計年度末に比べて277百万円の減少となりました。株式売却の影響などから、未払法人税等が669百万円増加、繰延税金負債が808百万円減少いたしました。

純資産合計は5,067百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,173百万円の減少となりました。四半期純利益1,289百万円の発生と期末配当209百万円の実施により利益剰余金が1,079百万円増加した一方、株式売却の影響などから、その他有価証券評価差額金が1,341百万円減少、また、株式売却に伴い投資事業組合等における少数株主への分配金支払を実施したことなどから、少数株主持分が2,972百万円減少いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,746百万円増加し4,573百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

税金等調整前四半期純利益3,692百万円、減価償却費89百万円、売上債権の減少175百万円などの資金の増加がありましたが、投資有価証券売却益3,822百万円、たな卸資産の増加80百万円などの資金の減少があり、営業活動によるキャッシュ・フローとしては、64百万円の増加（前年同期は111百万円の減少）となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資有価証券の売却による収入5,344百万円などの資金の増加がありましたが、有形固定資産の取得による支出175百万円などの資金の減少があり、投資活動によるキャッシュ・フローとしては、5,129百万円の増加（前年同期は43百万円の減少）となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

長期借入れによる収入300百万円の資金の増加がありましたが、長期借入金の返済による支出278百万円、短期借入金の減少300百万円、配当金の支払208百万円、投資事業組合等における少数株主への分配金支払2,002百万円などの資金の減少があり、財務活動によるキャッシュ・フローとしては、2,491百万円の減少（前年同期は324百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、為替が想定よりも円安に推移したため、輸出割合が高い当社においては、売上総利益率の改善が見られました。一方で、販売費及び一般管理費については、研究開発費を主な原因として予想を上回る費用計上となりました。その結果、営業損益ベースでは、ほぼ予想どおりの着地となりました。その他、為替差益の発生などにより、経常損益、四半期純利益においては予想よりも改善がみられました。

第3四半期以降においては、為替動向も気になりますが、何よりも、受注案件として、①アボットグループ向けの臨床診断用の検体前処理装置、②エリテックグループ向けの全自動遺伝子診断装置「geneLEAD（ジーンリード）」の2つの大きな開発プロジェクトを予定どおりに進めることに注力してまいります。

現時点においては、通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,846,838 | 4,593,591 |
| 受取手形及び売掛金 | 882,051 | 749,711 |
| 商品及び製品 | 671,416 | 705,324 |
| 仕掛品 | 252,594 | 279,493 |
| 原材料及び貯蔵品 | 106,148 | 101,722 |
| 繰延税金資産 | 469,841 | 12,374 |
| 未収入金 | 1,559,756 | 35,459 |
| その他 | 136,883 | 128,500 |
| 貸倒引当金 | △844 | △998 |
| 流動資産合計 | 5,924,687 | 6,605,179 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 1,046,756 | 1,222,896 |
| 無形固定資産 | 55,098 | 114,521 |
| 投資その他の資産 | 4,462,261 | 95,150 |
| 固定資産合計 | 5,564,116 | 1,432,568 |
| 資産合計 | 11,488,803 | 8,037,748 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 366,426 | 450,671 |
| 短期借入金 | 300,000 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 584,702 | 597,991 |
| リース債務 | 2,795 | 2,132 |
| 未払法人税等 | 59,920 | 729,023 |
| 賞与引当金 | 11,578 | 14,048 |
| その他 | 198,759 | 252,009 |
| 流動負債合計 | 1,524,182 | 2,045,876 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 803,812 | 811,559 |
| リース債務 | 4,935 | 3,970 |
| 繰延税金負債 | 859,497 | 51,159 |
| 退職給付引当金 | 55,294 | 57,397 |
| その他 | 89 | 57 |
| 固定負債合計 | 1,723,629 | 924,144 |
| 負債合計 | 3,247,812 | 2,970,021 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,217,194 | 2,217,194 |
| 資本剰余金 | 251,999 | 251,999 |
| 利益剰余金 | 1,165,627 | 2,245,008 |
| 株主資本合計 | 3,634,820 | 4,714,201 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,341,142 | — |
| 為替換算調整勘定 | △52,205 | 8,708 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,288,936 | 8,708 |
| 少数株主持分 | 3,317,234 | 344,817 |
| 純資産合計 | 8,240,991 | 5,067,727 |
| 負債純資産合計 | 11,488,803 | 8,037,748 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日) |
|-------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 1,947,396 | 1,907,525 |
| 売上原価 | 1,338,517 | 1,219,835 |
| 売上総利益 | 608,878 | 687,690 |
| 販売費及び一般管理費 | 730,847 | 911,074 |
| 営業損失(△) | △121,968 | △223,384 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 504 | 526 |
| 為替差益 | 37,273 | 41,873 |
| 助成金収入 | 2,626 | 10,478 |
| 還付消費税等 | — | 37,706 |
| 保険返戻金 | 164 | 7,459 |
| その他 | 3,159 | 3,490 |
| 営業外収益合計 | 43,727 | 101,535 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8,686 | 8,903 |
| その他 | 2 | 160 |
| 営業外費用合計 | 8,688 | 9,063 |
| 経常損失(△) | △86,929 | △130,912 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 33 | 3,822,683 |
| 固定資産売却益 | — | 774 |
| 負ののれん発生益 | 13,449 | — |
| 特別利益合計 | 13,482 | 3,823,457 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 3 | 223 |
| 投資有価証券評価損 | 12,364 | — |
| 段階取得に係る差損 | 9,141 | — |
| 特別損失合計 | 21,509 | 223 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △94,955 | 3,692,321 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,986 | 711,446 |
| 法人税等調整額 | 21,069 | 467,376 |
| 法人税等合計 | 26,056 | 1,178,823 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △121,012 | 2,513,497 |
| 少数株主利益 | 33,493 | 1,224,218 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △154,506 | 1,289,279 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日) |
|---|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△) | △121,012 | 2,513,497 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | — | △3,500,651 |
| 為替換算調整勘定 | 68,304 | 60,913 |
| その他の包括利益合計 | 68,304 | △3,439,738 |
| 四半期包括利益 | △52,708 | △926,240 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △86,201 | 9,050 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 33,493 | △935,291 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △94,955 | 3,692,321 |
| 減価償却費 | 81,305 | 89,287 |
| 負ののれん発生益 | △13,449 | — |
| 引当金の増減額(△は減少) | 19,200 | 4,588 |
| 受取利息及び受取配当金 | △504 | △526 |
| 支払利息 | 8,686 | 8,903 |
| 保険返戻金 | △164 | △7,459 |
| 固定資産売却損益(△は益) | — | △774 |
| 固定資産除却損 | 3 | 223 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △33 | △3,822,683 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 12,364 | — |
| 段階取得に係る差損益(△は益) | 9,141 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 144,121 | 175,235 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △232,134 | △80,882 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 34,470 | 37,675 |
| その他 | △55,463 | 22,128 |
| 小計 | △87,411 | 118,039 |
| 利息及び配当金の受取額 | 504 | 395 |
| 利息の支払額 | △9,182 | △8,931 |
| 法人税等の支払額 | △15,443 | △44,594 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △111,533 | 64,908 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △49,771 | △175,158 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 4,174 | 6,192 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △24,430 | △33,708 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 3,045 | 5,344,684 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | 26,356 | — |
| 関係会社株式の取得による支出 | — | △30,000 |
| 保険積立金の積立による支出 | △2,944 | △2,140 |
| 保険積立金の解約による収入 | 550 | 19,958 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △43,019 | 5,129,827 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 400,000 | △300,000 |
| 長期借入れによる収入 | 150,000 | 300,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △217,273 | △278,964 |
| リース債務の返済による支出 | △5,918 | △1,627 |
| 配当金の支払額 | △91 | △208,270 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △1,928 | — |
| 投資事業組合等における少数株主への分配金支払額 | — | △2,002,686 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 324,788 | △2,491,548 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 46,382 | 43,564 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 216,618 | 2,746,752 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,762,392 | 1,826,838 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,979,010 | 4,573,591 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

「II 当第2四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------------|-----------|------------|--------------|---------|-----------|--------------|-----------|--------------|------------------------------------|
| | 装置 | 試薬・ 消耗品 | メンテナ ンス関連 | 受託製造 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,144,180 | 481,117 | 146,542 | 130,269 | 1,902,109 | 5,416 | 1,907,525 | — | 1,907,525 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,144,180 | 481,117 | 146,542 | 130,269 | 1,902,109 | 5,416 | 1,907,525 | — | 1,907,525 |
| セグメント利益又は セグメント損失 (△) | 19,402 | 30,288 | 6,324 | 22,545 | 78,560 | △4,263 | 74,296 | △297,681 | △223,384 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PSSキャピタル(株)とベンチャーファンドであるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合、その投資先であるPaGE Science(株)の事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△297,681千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用(一般管理費及び研究開発費等)であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、当連結会計年度より営業体制の見直しを実施しており、ワールドワイドに統一した営業戦略を実行しております。OEM顧客も世界的規模で活動している会社であり、従来の「日本」、「米国」、「ドイツ」といった地域別セグメントの意義が薄くなり、一方で、来期より本格的な試薬事業への展開が見込まれるため、第1四半期連結累計期間より、製品区分別セグメントである「装置」、「試薬・消耗品」、「メンテナンス関連」、「受託製造」の区分に変更いたしました。

なお、当該組織変更を反映した前第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------------|-----------|------------|--------------|---------|-----------|--------------|-----------|--------------|------------------------------------|
| | 装置 | 試薬・ 消耗品 | メンテナ ンス関連 | 受託製造 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,066,583 | 479,193 | 134,151 | 262,296 | 1,942,223 | 5,172 | 1,947,396 | — | 1,947,396 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,066,583 | 479,193 | 134,151 | 262,296 | 1,942,223 | 5,172 | 1,947,396 | — | 1,947,396 |
| セグメント利益又は セグメント損失 (△) | 97,978 | 23,243 | △7,245 | 15,057 | 129,033 | △761 | 128,272 | △250,240 | △121,968 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PSSキャピタル(株)とベンチャーファンドであるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合、その投資先であるPaGE Science(株)の事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△250,240千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用(一般管理費及び研究開発費等)であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(重要な後発事象)

株式分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更

当社は、平成25年8月9日開催の取締役会決議に基づき、平成26年1月1日付で、株式の分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更を実施いたしました。また、定款変更については、平成25年9月26日開催の第28回定時株主総会において承認されました。

1. 株式分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更の目的

株式分割により、当社株式の投資単位あたりの金額を引き下げることで流動性を高め、より投資しやすい環境を整えることで投資家層の拡大を図ることを目的に、1株につき200株の割合で株式分割いたします。

また、平成19年11月27日に全国証券取引所より公表された「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、当社普通株式の売買単位を100株とするため、100株を1単元とする単元株制度の採用を実施いたします。

なお、本株式分割及び単元株制度の採用により、投資単位は実質的に2分の1となります。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成25年12月31日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載された株主の所有普通株式を、1株につき200株の割合をもって分割いたしました。

(2) 分割により増加する株式数

| | |
|-----------------|-------------|
| 株式分割前の発行済株式総数 | 91,260株 |
| 今回の分割により増加する株式数 | 18,160,740株 |
| 株式分割後の発行済株式総数 | 18,252,000株 |
| 株式分割後の発行可能株式総数 | 68,480,000株 |

(3) 分割の日程

| | |
|--------|-------------|
| 基準日公告日 | 平成25年12月16日 |
| 基準日 | 平成25年12月31日 |
| 効力発生日 | 平成26年1月1日 |

3. 単元株制度の採用

(1) 新設する単元株式の数

単元株制度を採用し、単元株式数を100株といたしました。

(2) 新設の日程

平成26年1月1日

4. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割による影響については（1株当たり情報）に記載しております。